

津山市教育委員会通信

【津山市教育委員会】

〒708-8501 津山市山北520

電話：0868-32-2112（教育総務課）

Eメール：kyouiku@city.tsuyama.lg.jp

つやま子ども観光ガイド育成塾を開催しました

8月23日、津山の素晴らしい文化財や観光資源について学び、家族や来場者に観光ガイドとなって案内する「つやま子ども観光ガイド育成塾」を開催しました。

今年度は、津山の鉄道遺産をテーマに5回シリーズで行います。

第1日目は、津山まなびの鉄道館を会場として、鉄道の歴史や鉄道が地域で果たした役割などについて学んだ後、機関車庫やジオラマなどを見学しました。



参加した子どもたちは、小学5年生から中学3年生までの8名で、どの子もメモを取りながら説明を聞いたりと、学んだ感想を発表したりすることができました。



【子どもたちの感想】

- ☆車庫が扇型である理由や、津山駅ができた経緯がよく分かった。鉄道の役割や歴史についてもよく分かった。
- ☆津山線の歴史や岡山の鉄道がどのように発展していったのかがよく分かった。
- ☆列車が動く仕組みや、車両を回転させる工夫が分かった。まなびの鉄道館にある車庫や転車台は津山の宝物だと思うので、みんなに詳しく伝えられるようになりたい。



「つやま子ども観光ガイド育成塾」は、津山の歴史・文化・観光資源を学び、その学びを発信、PRすることを通じて、津山に誇りと愛着をもち、地域や社会に貢献できる人材を育成することを目的として取り組んでいます。昨年度は、津山城をテーマとして開催しました。

今後は、3回の講座を受け、12月に観光ガイドに挑戦します。学びを深め、観光ガイドとして津山の鉄道遺産を案内できるよう、子どもたちをサポートしていきます。

【今後の予定】

- ☆ 9月22日（火）「鉄道施設を学ぼう！」－津山駅の役割を学ぼう（運転シミュレーター体験も！）－
- ☆ 10月25日（日）「鉄道と観光を学ぼう！」－「津山まなびの鉄道館」を楽しく学ぼう－
- ☆ 11月29日（日）「ガイド説明文を考えよう！」－「津山まなびの鉄道館」を調べよう－
- ☆ 12月20日（日）「観光ガイドに挑戦しよう！」－調べた成果を発表しよう－

親子の絆について考える「親子詩」講座

8月18日、高野小学校5年生学年PTA活動で、親子詩講座を実施しました。親子詩は、まず子どもが親に対する思いを、五・七・五にまとめます。

子どもの創った五・七・五

お母さん いつも笑顔で楽しいよ

おばあちゃん いつも健康
気をつけて

お父さん いつもお仕事 ありがとう

お母さん 私の成長 見ていてね

みそ汁に 何でも入れる 母の味

【保護者の感想】

- ☆最近、子どもとコミュニケーションをとることが少なかったなので、とても素敵な時間を過ごすことができました。
- ☆愛情表現を文字にすることは、これまでなかったです。これから気をつけて文字にして伝えたいです。

親子詩

母さんの作る料理 大好きだよ
みんなの笑顔 かくし味

子どもたちの感謝の思い、健康を気遣う思いなどを受け取った保護者の中には、涙を浮かべる方もおられ、会場は温かい雰囲気になりました。

最後は、子どもが創った上の句に、親が下の句をつなげ、右のような親子詩が次々と完成しました。

今年度は、これまでの親学講座の取組に加え、保護者一人一人が家庭での教育を見つめ直し、自信をもって子育てに取り組んでいく契機となるよう

「新しい親学」講座を計画・実施しています。今後も「親が変われば、子どもも変わる、一緒に変わろう！」をテーマに継続的に取組を進めていきたいと思います。

津山市PTA連合会主催 ビデオ会議アプリ入門研修

コロナ禍で、学校行事だけでなく、PTA行事や会合も延期や中止を余儀なくされています。

そのようななか、津山市PTA連合会では、ビ

デオ会議アプリZOOMの基本操作を学ぶ研修を8月19日、8月26日に実施しました。

研修内容は、ZOOM基本操作に加え、ホスト（主催者）としてビデオ会議を開催する方法を学びました。単位PTAのミーティング、地域連携、学校活動などに活用できるよう、参加者はメモを取ったり、質問したりしながら講座を受けていました。



修学旅行に替わる1日旅行

修学旅行が中止になるなか、院庄小学校では、代わりにの行事として8月25日に、真庭市の山乗溪谷でリバートレッキング体験を行いました。



この日、津山市では熱中症情報が出るほどの暑さでしたが、溪谷の水は思った以上に冷たく、子どもたちも驚くほどでした。それでも、子どもたちは、元気よく川の中に入って、全身に水をかぶりながら川を上って行きました。自然の中で思い切り体を動かし、良い思い出となりました。

その他の学校でも、県内の自然や文化などの魅力を再認識する1日旅行や、友だちや先生たちとの絆を深められるような、工夫を凝らしたレクリエーション等、心に残る行事の計画を進めているところです。